2016 January No.516

ひまわりだより

１月号

himawari dayori.

contents

▶ごあいさつ …… 2
▶第６次小竹町行政改革大綱の概要 …… 3
▶町民まつり２０１５／少年の主張発表会 …… 4
▶みんなのひろば …… 8
▶点描・町長の動き …… 10
▶役場からのお知らせ …… 11
▶読書の森 …… 16
▶健康情報 …… 17
▶暮らしの情報 …… 18
▶福岡駅伝に初出場しました！ …… 20

みんなで もちつき 楽しいな♪

12月10日、小竹化成(株)や中央公民館の皆さんのご協力のもと、小竹こども園でもちつきをしました。年長組(いるか組・くじら組)の子どもたちが「ぺったんぺったん」と力強く一生懸命つきました。餅をみんなで丸めたり、きなこもちにして食べたりしてとっても楽しかったよ！

ごあいさつ

小竹町長　松尾勝徳

小竹町民の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年、国際社会においてはシリアの難民問題も先が見えず、「ＩＳ」（イスラム過激派組織）のテロの脅威に対する不安が蔓延（まんえん）し、憎しみの連鎖が懸念されます。

国内においては、10月に第３次安倍内閣が発足し、強い経済の実現とともに、少子・高齢化に歯止めをかけるため、アベノミクス第２ステージとして「新３本の矢」が示されました。一方、４年９月の歳月を経てもなお、東日本大震災復興や原発の事故処理はいまだに最終的な解決の糸口が見えぬまま年を越しました。また、昨年発生した、口永良部島の噴火や茨城県常総市の鬼怒川の氾濫も衝撃的な事件でした。本町においては幸いにして大きな災害から免れましたが、「いざ」というときに住民の命を守りきる対策の必要性を強く感じます。

町づくりは、地域住民のためのさまざまな施策を地域協働によって進めることです。そのためにはそれぞれの分野で既存の枠にとらわれない独創的な発想のできる人材の育成と、自治会を含め町づくり諸団体の存在が必要不可欠になってまいります。このことを踏まえて、平成28年度を目標年次とした「第４次総合計画後期基本計画」で示した町の将来像実現のための目標である、地域住民の理解と協力のもと美しい景観を保持しながら活気に満ちた潤いのある協働・共生の町づくりを目指すことにしています。

また、人口減少社会の到来など厳しい社会環境の変化が迫る中、本町は国が推進する「まち・ひと・しごと地方創生」関連交付金を活用したモデル事業として、小竹駅西口開発も視野に入れ、都市部からの移住や住み替え支援、働く場の確保や、生涯学習、地域社会への参加など、より一層の地域社会の活性化を図るべく「総合戦略」の推進を図ります。加えて、医療・福祉・介護など住民が生活する上で欠かせない施策については、高齢者の健康づくりや予防に力点を置き、「健康長寿・老楽（おいらく）の町」づくりを目指します。

子ども・子育て支援については、子育て世代の親と子が交流を深めるため子育て支援センターの充実を図るとともに、町の教育施策に基づく調和のとれた人間形成を目指す学校教育の充実を図り、町の将来を担う人材育成に努めます。

自動車関連企業のほか大型商業施設、流通・運送業などを含めた企業誘致も着々とその成果を上げてまいりました。今後はさらに、雇用の確保と定住化促進施策を進め、人口増を図ってまいります。また、この機を逃さず、農業・工業・商業の連携を深め、魅力ある「産業づくり」を進めてまいります。

中・長期的な施策としては、下水道整備事業をさらに進め、庁舎の移転改築、町営住宅の長寿命化などのほか、町内に数多く残された歴史遺産、産業遺産などを生かした観光行政の推進に努めます。

安全で安心して暮らせる町づくりのため、地域防災計画に基づき、関係諸団体の協力をいただくとともに、各自治会に設置されている自主防災組織と連携した避難訓練を実施し、防災・減災対策の強化に努めます。

昨年、「将来にわたって維持可能な町づくり」を基本理念として策定した「第６次行政改革」を今後５か年を目途（めど）に推進し、収入の確保と支出の抑制を図り、財政基盤の確立を目指します。

本年も「暮らしを支える絆社会」を目指して「分かち合い、支え合い、助け合う」地域づくりを目指して町政を担わせていただきます。

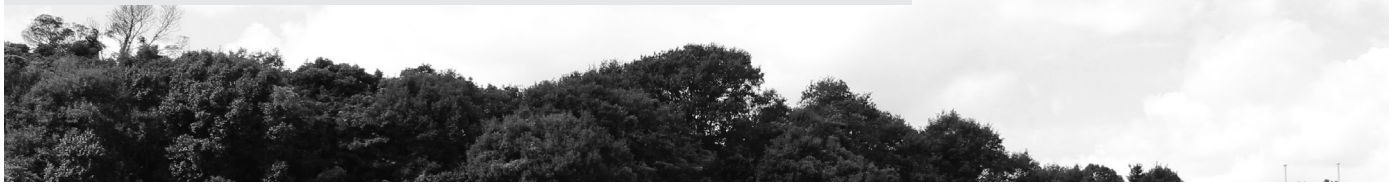
本年もよろしくお願いいたします。

謹賀新年

第６次小竹町行政改革大綱の概要

平成27年度から平成３１年度までの５年間に、小竹町が取り組む行政改革の指針として策定した「第６次小竹町行政改革大綱」の概要をお知らせします。なお、小竹町ホームページでは、全文を掲載しています。

小竹町の新たなまちづくりの礎となる行政改革です。行政と町民の皆さんが協力し、ともによりよい町を作っていきましょう。



１　はじめに

本町の人口減少、危機的な財政状況の中、新たな時代に呼応し、かつ、将来にわたって持続可能な行政の組織・運営を図るため、行政改革を推進します。

２　第６次行政改革の基本的な考え方

昭和61年から平成26年までに５次にわたって行政改革に取り組んできましたが、この計画期間中の平成３１年度までの財政収支は、約８億円の累積赤字が生じると試算しています。

この大綱では、徹底した行政のスリム化を行い、聖域なく改革を断行することを基本とします。

その実現のため、以下の６つの事項について取り組みます。

（１）中期財政計画

経費の抑制、収入の確保について、行政改革における効果額を設定し、５か年を目途（めど）とした中期財政計画を策定します。計画の達成度調査を行い、適宜見直しを行うこととします。

（２）事務事業の見直し

大規模事業計画について、全ての事業を総合的に比較検討するための委員会を設置し、事業の採択等を行います。

（３）定員管理の適正化

組織、機構および事務事業の統合等を行い、職員数の削減を基本とした人材管理制度の構築を行います。

（４）人件費の抑制

特別職を含めた全ての職員について、人件費の抑制を図ります。

（５）まちづくり

新たな地域協働のまちづくり、小学校の統合および小中一貫教育について検討を行います。また、行政運営の透明化の確立、情報発信の強化などを行います。

（６）事務事業評価制度

この大綱を確実に実施するため、数値目標を明確に設定し、毎年度検証、改善を行い、併せて有識者による外部評価制度を構築します。

小竹町民まつり2015

平成27年11月14日・15日

たくさんのご来場ありがとうございました。

宮城県石巻市小竹浜の皆さんが初めて小竹町を訪問されました。

東日本大震災直後から「小竹浜に笑顔を贈る会」が交流を続けてきた宮城・小竹浜地区の住民8名が、初めて小竹町を訪れました。この表敬訪問は、震災後から現在までのフリーマーケット等で得た収益金で小竹町に来ていただこうと計画し、念願かない実現しました。

8名は町民まつりのステージに登壇し、小竹浜地区の西野嘉一区長が「(震災から)4年8か月がたち、ようやく笑顔を取り戻せました。その笑顔をお見せするためやって参りました。」とあいさつ。その後、恩返しのため、手作りの郷土料理「おくずかけ汁」を無料で振る舞っていただきました。用意していただいた二百杯分のおくずかけ汁は配布開始15分でなくなる人気ぶりでした。

8名は、14日から16日まで滞在し、「笑顔を贈る会」のメンバーや松尾町長らと懇談しました。訪問記念に、牡鹿半島の雄勝石に帆船が彫られた置物を贈っていただき、今回の訪問で絆をさらに深めることができました。

宮城県の郷土料理
「おくずかけ汁」

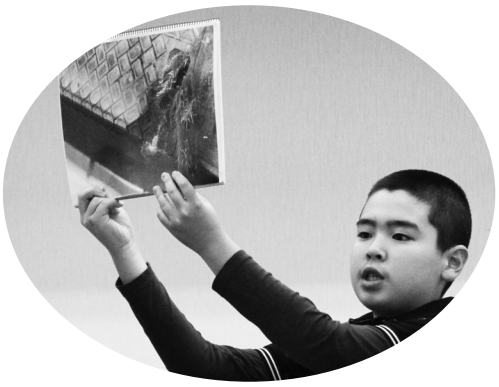
餅まきの餅は、今年も南良津区自治会の皆さんが準備してくださいました。
ありがとうございました！

少年の主張発表会

町民まつり1日目の11月14日に行われた「少年の主張発表会」。今年は町内小中学校から9名が発表しました。審査委員による審査の結果、小竹中3年の髙石 桜さんが最優秀賞、北小6年の髙橋美遥さん・南小5年の今永 薫さんが優秀賞に選ばれました。審査委員を務めた小竹町教育委員長の浅原喜代子さんが「発表内容も正しく、態度、表現とも年々レベルが高くなっている。人に何かを伝えるときのポイントは、その事柄に対して自分がどうしたいのか・どうしているのか、何を訴えたいのかを明確にすること。それによって表現方法も変わってくる。自分の主張を伝えるための工夫を、普段から友達や家族、周りの人に対して意識してほしい。」と講評しました。

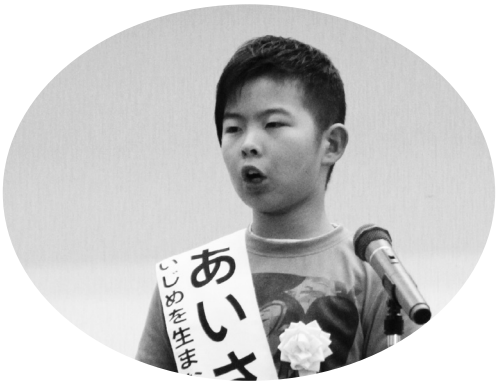
「リンちゃんがくれた幸せ」

西小５年　稲益　琴音



「日本の川を取り戻そう」

南小５年　今永　薫



「あいさつチャンピオン」

北小５年　井上　毅一

「発達障害の子も希望あふれる未来」

西小６年　松下　未月

「やればできる」

南小６年　渡邊　寧々華

「自転車大会で学んだこと」

北小６年　髙橋　美遥

「『夢と平和』について」

小竹中１年　能美　咲華

「いじめについて」

小竹中２年　新谷　楓華

平成27年度「少年の主張発表会」最優秀賞

「人の大切さについて」

小竹中３年　髙石　桜

人間は一人では生きていけません。たくさんの人に支えられて生きています。お父さん、お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、弟、妹、飼っている犬や猫などの家族。学校のクラスメート、友達などたくさんの人から支えられて生きています。そのおかげで、自分が生きています。たくさんの人が支えてくれて、生きていけるからこそ、笑ったり、怒ったり、泣いたり、喜んだりできます。

今年は戦後七十年です。七十年前、たくさんの人が亡くなりました。そして、たくさんの家族、友達を失いました。家族や友達が、大切な人がいなくなるのです。それはとてもつらくて、悲しくて二度と忘れることはできないことです。

私も今年一人、大切な人を失いました。それは突然の出来事でした。その友達が交通事故にあい、意識不明の状態になりました。その事を知った時、頭が真っ白で混乱しました。病院に行った時、たくさんの人や私の友達もたくさんいました。みんな涙を流して「がんばって。」と一人一人声をかけていました。私も声をかけました。もちろん反応はありません。でも、みんなでそれぞれの学校の話などしていて、笑うとその友達の心拍数が上がっているのです。私は、「ちゃんと聞こえているんだ。」と思うと、とてもうれしくなりました。その友達は頭などは包帯でまかれていて、体中はれていて、手をにぎるだけではれているということがわかるほどです。足は骨折していました。点滴をずっとしているので顔もはれていました。一人で息をするのが難しい状態なので人工呼吸器を使って、息をしていました。そして、帰ろうとしたときです。一人の友達が、「元気で戻ってきてね。待ってるよ。」と言うと涙を流したのです。私は涙がとまりませんでした。その友達も生と死の境で戦っているのです。私も必死に声をかけました。元気になって戻ってきてほしい。そう願うことしか私にはできませんでした。そして、数日後にその友達が危険な状態だと電話がありました。でも私は会いに行くことができませんでした。もうその友達と会うことができないと知ったからです。それほど危険な状態でした。私はひたすら願うことしかできませんでした。そこで、千羽鶴を折ることにしました。私の家族にも手伝ってもらいました。ある日、私が部活をしている時でした。お母さんからその友達が亡くなったとの連絡がきました。私はその場で涙がとまりませんでした。私はどうしてと思うばかりでした。部活を途中でやめ、すぐにお葬式に行きました。式場はたくさんの人がいて、式場の中になかなか入れませんでした。やっと友達に会えて線香をあげることができました。その時友達に、「今までありがとう。本当にありがとう。私をずっと見守っててね。」とお別れをしました。

私はこの経験から、「その友達の分まで生きていくんだ。」と心に強く決めました。つらくて、苦しくて、逃げたい時ももちろんたくさんあると思います。でも、くじけないで、一瞬一瞬を一生懸命生きていこうと思いました。大切な人はたくさんいます。自分を支えてくれているたくさんの人に感謝したいです。そして、いつも誰かに支えられるだけでなく、友達や家族がつらい時は話を聞いてあげたり、泣いていたら抱きしめてあげたりして、自分が支えられるようになりたいです。

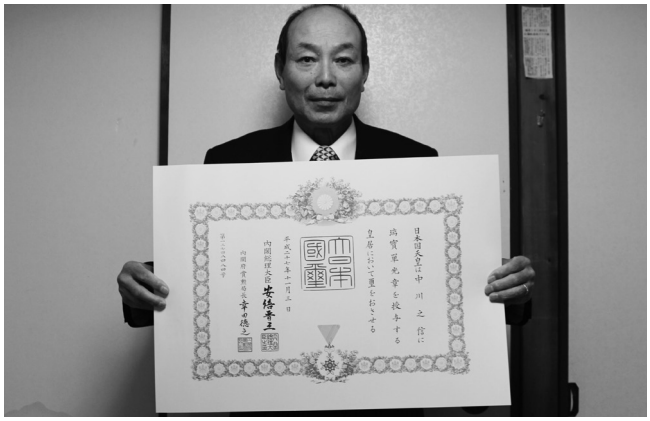
◉ご協力ありがとうございました

～秋季環境美化運動～

11月29日、町内一斉秋季環境美化運動を行いました。各区では早朝から区内の道路や溝等に落ちたごみを拾ったり、落ち葉を清掃したりする姿が見られました。

今回、収集したごみは可燃ごみ1,200㎏、草1,510㎏、粗大ごみ890㎏、ビン･カン360㎏でした。

今後もより住みよい町を目指し、町内の環境美化にご協力をよろしくお願いいたします。



◉中川元分団長が瑞宝単光章受章

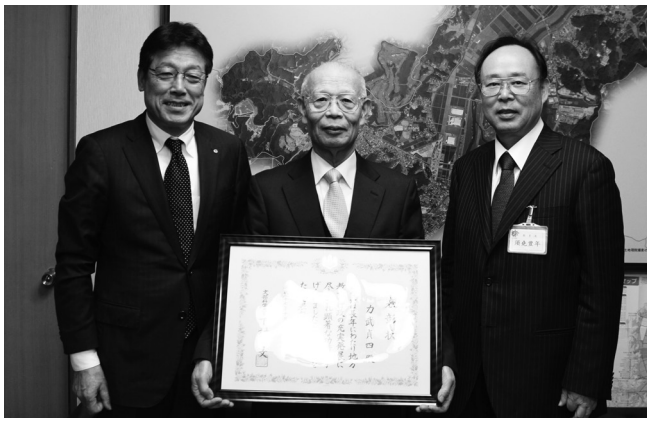
平成27年秋の叙勲において、元小竹町消防団分団長の中川之信さんが瑞宝単光章を受章しました。

中川さんは、昭和56年から平成26年までの33年間町消防団に所属し、平成21年から約５年間分団長として活躍しました。平成23年には、消防庁長官より永年勤続功労章を授与しており、長年にわたる功績がさらに評価されました。

◉力武元教育委員長が表彰を受けました

この度、昨年度まで小竹町教育委員会委員長を務めた力武貞四さんが、文部科学省より地方教育行政功労者表彰を受けました。

力武さんは、平成15年に本町教育委員会委員に任命されて以来11年余りにわたって教育行政に携わり、卓越した指導力を発揮しました。過去には西小学校長や小竹幼稚園長の経験もあり、教育現場において全幅の信頼を得ています。



◉タブレットを使って学習しました

12月２日、福岡教育大学に協力していただき西小３年生がタブレット端末を使った算数の学習を行いました。本時の学習のめあては、「円と半径を使って、書いた三角形は二等辺三角形になるわけを説明しよう」。タブレット端末を用いることで図形を視覚的に捉えたり、児童が書いた答えをすぐに大画面に映し出したりすることが可能になり、算数に苦手意識のある児童の意欲も高める効果があります。児童は慣れた手つきで端末を操作しながら楽しく学習をしていました。

あなたの住む地域のイベントや
身近な話題などの情報を
広報で発信しませんか？
連絡先▶総務課情報係☎2・1212

◉柴原 洋さん(元ダイエー・ソフトバンク)から バッティングを教わりました

12月7日、町民グラウンドで、元プロ野球選手で現在野球解説者の柴原洋さんをお招きし、野球教室を開催しました。小竹ガッツや竹友会ドラゴンズ、小竹中野球部などのチームが参加し、約1時間半バッティングについて教わりました。柴原さんがお手本を見せると子どもたちから「おぉ～～！」という歓声が上がりました。子どもたちから「どうやったらスカウトされますか？」と聞かれ、柴原さんは「いつチャンスが来るかはわからないので、とにかく自分をアピールして！」とエールを送りました。

▼生徒募集！
キックボクシング萬田道場
(田川市弓削田)
☎0947・44・1228

◉キックボクシング大会で優勝

11月15日に赤村健康増進センターで行われた「大和キックボクシング祭」で、北小5年の中川一臣さんが30kg級トーナメントで9人を勝ち抜いて見事優勝しました。

小学1年で競技を始めた中川さんは、昨年も別の大会で全国大会に出場経験があり、その実力をますます上げている様子。「これからもどんどん優勝して、たくさんチャンピオンベルトを増やしたいです。」と力強く話してくれました。

◉みんな一生懸命頑張りました！ ～日本嵩山少林拳選手権大会に出場(11月8日・大分市)～

最優秀拳士賞▶伊藤　まお

演武試合

【小中学生個人の部】		
▶長拳の部	準優勝	大井　孜竜
▶嵩山少林拳の部	準優勝	伊藤　魁聖
	4位	高島　呼良
【小学生女子の部】	優勝	大井　陽菜
【一般女子の部】	優勝	伊藤　まお

乱取試合

▶小学1年の部	優勝	岩本成大郎
▶小学2年の部	優勝	大井　孜竜
	準優勝	河島　一豊
▶小学5年の部	優勝	伊藤　魁聖
▶一般女子の部	優勝	伊藤　まお
▶一般の部	優勝	森　嵩人

▼拳士募集！(体験入学可)
【練習場所】小竹町児童体育館
【練習日】毎週水・金曜日18時30分から21時まで(祭日は休み)

記事と写真の提供▶少林拳小竹道場　指導者　大井　仁さん

◉副団長・豊﨑氏が藍綬褒章を受章

平成27年秋の褒章において小竹町消防団副団長の豊﨑能利雄さんが藍綬褒章を受章しました。藍綬褒章は、社会や公共の福祉、文化などに貢献した者を顕彰する日本栄典の一つです。

豊﨑さんは、昭和52年に消防団に入団して以来38年間にわたって消防業務に従事しています。平成23年からは副団長を務め、わが町の消防団をけん引する存在として活躍されています。本町消防団では、平成27年春にも宮野政義団長が藍綬褒章を受章し、おめでたい報告が続きました。

点描

町長コラム

1月を「睦月（むつき）」と呼ぶようになったのは、正月は身分の上下なく親族が集まって宴をする「むつびつき（睦び月）」が訛って「むつき」になった説が有力視されている。

さて昨年は、シリアからの難民問題やＩＳ（イスラム過激派組織）のテロの脅威に不安を抱えつつ年を越し、国内ではアベノミクス第２ステージとして、強い経済を実現するため「新三本の矢」（①希望を生み出す強い経済②夢をつむぐ子育て支援③安心につながる社会保障）が示された。国内外ともに波乱含みの中で新年を迎えた。複雑さを増す政治や経済の話はこれくらいにして、昨年末に宮城県石巻市から「震災復興支援に感謝。石巻・小竹浜の住民、福岡・小竹町を訪問」の記事が石巻かほく新聞に掲載されたという便りが届いた。東日本大震災後、同じ地名が「縁」で支援を続けている「小竹浜に笑顔を贈る会」（小竹町民有志）の招きで、小竹浜の住民の方々が小竹町を訪れ交流を深め合った。その中で「この出会いは奇跡です。生きてきてよかった」と石巻地区漁協小竹支部の参加された女性が感涙にむせぶシーンも。記念に慶長使節船を描いた雄勝石のレリーフをいただいた（役場ロビーに展示）。この交流は、これまで社会に受け継がれてきた謙譲や助け合いの模範として、町の歴史に刻まれた。ある映画のポスターにこんな言葉が添えられている。「みんな、だれかのだいじ」そこには、失いかけた他者へのいたわりや支え合う精神が込められている。

小竹町長　松尾勝徳

町長の動き　―11月21日から12月20日まで―

11月21日	宮若市制10周年記念宮若市議会健康講座	宮田文化センター
11月22日	県民駅伝大会	筑後広域公園
11月23日	参議院議員 大家敏志政経フォーラム	リーガロイヤルホテル小倉
11月24日	直方県土整備事務所長来庁	町長室
11月25日	全国治水砂防促進大会（～26日まで）	砂防会館別館
11月27日	運輸支局表敬訪問	町長室
11月29日	秋季環境美化運動	町民野球グラウンド
11月30日	年末年始特別警戒出陣式	イオンモール直方
12月1日	庁議	庁内会議室
	福岡県町村会理事会	福岡県自治会館
12月2日	議会運営委員会	庁内会議室
12月3日	翼の会来庁	福岡県自治会館
	力武貞四元教育委員長受賞報告	町長室
	トライアル座談会	
	第９回定例会（～18日まで）	議場
12月6日	ふくおか水もり自慢	遠賀川水辺館
12月9日	人権講演会	中央公民館
12月11日	九州電力（株）来庁	町長室
12月13日	公明党時局講演会	宮田文化センター
12月15日	町商工会陳情	町長室
12月16日	ＪＲ新飯塚駅長ダイヤ改正報告	町長室
	「小竹に住みたい」まちづくりの会12月例会	町商工会会議室
12月17日	嘉穂鞍手保健所運営協議会	飯塚医師会館
	自治会長会役員会	庁内会議室

俳句

小竹同人句会

阿部天風　選

街師走並木通りを黒い猫　松尾　治子

蒼々と空ある下や蓮根堀る　原賀　静子

除夜の鐘小さき町を響き合ふ　松尾清一郎

木枯や紅茶ゆっくり揺らしおり　安藤つき子

空箱に空箱つめる年の暮　選者　吟

小竹筍句会

阿部天風　選

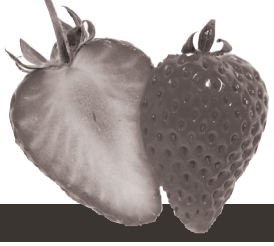
年送る世の変遷にとまどいつ　豊崎　民恵

メモに無き買物もして年用意　尾上　礼子

百八ッの鐘の半ばの除夜詣　時川寿美子

焚き捨てる落書多き古暦　門田　睦子

厚化粧して三度目の年忘　小嶋　亮子



幼保連携型認定こども園「小竹こども園」

平成28年度 園児を募集します！

問い合わせ▶小竹こども園 わくわくルーム☎2･3855 りんごルーム☎2･0187

小竹こども園は、幼稚園と保育所の良いところを併せ持ち、「教育」と「保育」を一体的に行い、その両方の役割を果たすことができる施設です。また、地域の子育て支援拠点として、子育ての不安に対応した相談の場や親子の活動の場（子育て支援センター）を開放しています。

「子ども・子育て支援新制度」では、保護者の状況により「保育の必要性」について、町から認定を受ける必要があり、その認定によって、利用が変わります。手続きについては、小竹こども園の申し込みと併せて行います。

◉募集園児（平成28年4月1日現在）

1・2号認定…平成22年4月2日から平成25年4月1日までに生まれた子

3号認定…平成25年4月2日から平成27年10月1日までに生まれた子

◉募集期間

平成28年1月4日(月)から平成28年1月29日(金)まで

※申請書類は、小竹こども園および役場福祉課で配布します。

※小竹町ホームページからもダウンロードできます。

◉入園申し込み

直接、小竹こども園にて申し込みを行ってください。

※新入園希望園児には、申込書提出の際に面接を行いますので、お子様と一緒におこしください。

〈面接〉

時間…募集期間中の月曜日から金曜日までの9時30分から16時まで

場所…0歳児から2歳児まで
→りんごルーム（旧保育所）
3歳児から5歳児まで
→わくわくルーム（旧幼稚園）

認定区分	認定区分の対象	旧利用体系	利用する施設
1号	満3歳以上	幼稚園	こども園（わくわくルーム）
2号	満3歳以上（保育を希望）	保育所	こども園（わくわくルーム）
3号	満3歳未満（保育を希望）	保育所	こども園（りんごルーム）

小竹西小第2回廃品回収のお知らせ

問い合わせ▶小竹西小学校☎2･0079

PTA事業の一つとして、本年度2回目の「廃品回収」を次のとおり実施いたします。

よろしくお願いします。

【期日】2月7日(日)

※雨天時中止

（実施については、町の無線放送でお知らせします。）

【対象地区】栄町区・本町区・新多区・毛勝区

【時間】8時までに各地区の回収場所（もしくは、道路に面した分かりやすい場所）に出してください。8時30分から保護者が集めに行きます。

【回収品】

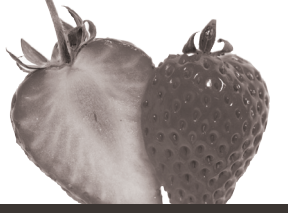
◉回収できるもの

一升ビン、ビールビン、ケース、アルミ缶、新聞・雑誌・段ボール

※種類別にまとめてお出しください。

◉回収できないもの

油ビン、透明ビン、牛乳ビン、すりガラスビン、雑ビン、スチール缶、古着、布団など



今月の納税

税金は納期限までに納めましょう

問い合わせ▶税務住民課収納係☎2・1216

集合税 ―町県民税・固定資産税・国民健康保険税―

第8期納期限　2月1日(月)

【口座振替日　1月25日(月)】

▼税の公平性

納付期限内に税金を納めた人との税の公平性を保つため、納期限が過ぎた後も納付がない場合、督促状を送ります。督促後、完納されないときは差押え等の処分の対象になりますので、納期限までの納付をお願いします。

▼口座振替による納税について

振替日は毎月25日(振替日が休日の場合は翌営業日、12月と2月は22日)です。自動的に指定の口座から税金が引き落とされるので、納め忘れの心配がありません。手続きは、町指定金融機関(福岡銀行、西日本シティ銀行、福岡ひびき信用金庫、飯塚信用金庫、直鞍農協、ゆうちょ銀行)または税務住民課で行えます。

マイナンバー(社会保障・税番号)制度

住所・氏名等変更のときは・・・

問い合わせ▶税務住民課住民係☎2・1217

住所・氏名等の変更のときは通知カードが必要です。

◉住所・氏名等に変更があった場合、通知カード(マイナンバーが記載されたカード)の裏面の追記欄に新しい住所・氏名等を記入する必要があります。住所・氏名等を変更した人は、必ず通知カードを持参して役場税務住民課住民係で手続きをしてください。

通知カードは届きましたか?

◉通知カードがまだ届いてない人は、役場に通知カードが返戻されている場合があります。届いてない人は住民係にご連絡ください。

小竹町地域福祉計画(案)

パブリックコメントを募集します

問い合わせ▶福祉課一般福祉係☎2・1219

「地域福祉計画」とは、住民に最も身近な行政主体である市町村が、地域福祉推進の主体である地域住民等の参画を得て、地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める計画です。

つきましては、この計画案に対する皆さんのご意見を募集します。ぜひ、たくさんのご意見をお聴かせください。ご提出いただいたご意見を考慮しながら、最終案を作成します。

なお、計画(案)は小竹町ホームページで公開するほか、役場福祉課、中央公民館、総合福祉センターで閲覧することができます。

【募集期間】

1月15日(金)まで**※必着**

【意見を提出できる人】

▼町内に住所を有する人

▼町内に事務所または事業所を有する人

▼町内に通勤・通学している人

【提出方法】

①直接持参↓福祉課一般福祉係(⑨番窓口)へ

②郵送↓

〒820-1192　小竹町大字勝野3349番地　小竹町役場福祉課一般福祉係宛

※1月15日(金)必着

③FAX↓

☎09496・2・1140

④電子メール↓fukusi@town.kotake.lg.jp

【提出様式】

回答様式を作成して閲覧窓口に設置しておりますが(ホームページの場合は様式なし)、任意の様式でも構いません。その場合、**住所、氏名**および**「小竹町地域福祉計画(案)に関する意見」**と明記し、ご意見を記載してください。

※いただいたご意見の概要等は住所、氏名などの個人情報を除き、ホームページ等で公開する予定です。

なお、個々のご意見・情報等に直接回答はいたしませんのでご了承ください。

おめでとうございます

小竹町まちづくりひまわり賞表彰式

問い合わせ▶まちづくり政策課
まちづくり推進係☎2・1214

11月20日、町総合福祉センターで、平成27年度小竹町まちづくりひまわり賞表彰式を行いました。

これは、協働のまちづくり活動を実践し、その実績が顕著であるかたに対し贈るものです。

受賞者は左記のとおりです。

南良津区の田代貞義さんは、北小児童の集団登校引率活動や南良津区ふれあいサロン会長として地域住民のために活動をしています。

小竹区の白土晋吾さんは、小竹祇園山笠振興会会長として、山笠の保存継承への取り組みを通じて区内のみならず、町内の子どもたちの郷土愛を育む活動をしています。

受賞者▼（前列左から3番目）田代貞義さん（南良津区）
（前列左から4番目）白土晋吾さん（小竹区）

医療費通知をご存じですか？

問い合わせ▶健康増進課保険年金係☎2・1224

国民健康保険をはじめとする公的医療保険では、医療機関を受診した際、医療機関の窓口で医療費の一部（一部負担金）を支払うだけで医療を受けることができるため、医療費の総額を意識しにくい仕組みになっています。

そこで、小竹町国民健康保険では、医療費負担の仕組みや健康について理解を深めていただくために、奇数月（年6回、2か月ごと）に医療費通知（はがき）を各世帯にお届けし、皆さんの医療費をお知らせしています。

医療費通知をご覧いただき、受診状況をふり返り、健康な体づくりや、病気の早期発見、早期治療に心がけるとともに国民健康保険事業の健全な運営にご協力をお願いします。

■医療機関、薬局でもらった領収書は大切に保管を

医療機関や薬局では、医療費の内容の分かる領収書を発行しています。

領収書は、皆さんが医療費を支払った大切な証拠書類であり、高額療養費の申請や確定申告において医療費控除を受ける際の添付資料として必要になりますので、大切に保管しておきましょう。

国民健康保険への加入の手続きは、14日以内に

職場の健康保険（健康保険組合や共済組合など）に加入している人、後期高齢者医療制度に加入している人および生活保護を受けている人を除くすべての人が国民健康保険に加入します。

退職により職場で加入していた健康保険をやめたときや職場の健康保険の被扶養者から外れたときは、事業所が発行する資格喪失証明書を持参の上、14日以内に保険年金係窓口（⑧番）で加入の手続きを行ってください。

職場の健康保険に加入したときは、喪失の手続きを忘れずに

国民健康保険に加入している人が就職等により職場の健康保険（健康保険組合や共済組合など）に加入したときは、国民健康保険の喪失手続きが必要です。新しくできた被保険者証を持参の上、保険年金係窓口（⑧番）で喪失の手続きを行ってください。

七福区・栄町区・勝野2区

買い物支援を行っています

七福区、栄町区、勝野2区では、買い物にいくための手段がない高齢者、身体の不自由な人への支援を行っています。各自治会ともボランティアの皆さんが中心となって、各自治会からトライアル小竹店への送迎を実施しています。

【実施日時】
七福区▼毎週木曜日10時から
勝野2区▼毎週火曜日10時から
栄町区▼毎月第2・4金曜日10時から

20歳になったら国民年金

問い合わせ▶直方年金事務所☎0949･22･0905

国内に居住する20歳以上60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、国民年金保険料を納めることになります。

◉国民年金(基礎年金)3つのメリット

①老後を支えます
→老齢基礎年金

②病気やけがで障害の状態になったときに支えます
→障害基礎年金

③加入者が亡くなったとき、子のある配偶者、子を支えます
→遺族基礎年金

◉世代と世代の支え合いの仲間作り

公的年金制度は、現役世代が納める保険料で高齢者の年金を負担するという「世代と世代の支え合い」が基本です。

◉「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

収入等がなく保険料の支払いが困難な場合は、「学生納付特例制度」(学生のみ)、「若年者納付猶予制度」(30歳未満)などの保険料納付猶予制度があります。

◆学生納付特例制度とは

学生は、一般的に所得が少ないため、ご本人の所得額が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部海外大学の日本分校に在学する人です。

◆若年者納付猶予制度とは

学生でない30歳未満の人で、本人および配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

どちらの制度も、承認された期間は老齢基礎年金を受け取るために必要な期間に算入されますが、年金額には反映されません。しかし、収入を得られるようになり保険料の納付が可能となった時に「追納制度」を利用すれば、将来受け取る年金を増額することができます。

期限が近づいています。申請はお済みですか？

問い合わせ▶福祉課一般福祉係☎2･1219

臨時福祉給付金の申請は、平成28年2月3日(水)までです。

申請がお済みでない人はお急ぎください！

※臨時福祉給付金とは、消費税率引き上げの影響を踏まえた、所得の低い人への給付措置です。

【支給額】
1人につき六千円

【対象者】
平成27年度分の住民税が課税されていない人
(住民税において、課税者の扶養となっている場合や生活保護受給者等は対象外)

※対象と思われる人には、平成27年7月下旬に申請書一式を郵送しています。

◉詳しくは、申請書と同封の「お知らせします。2つの給付金(平成27年度)」のチラシまたは、小竹町ホームページ(http://town.kotake.lg.jp)でご確認ください。

※平成27年1月1日時点で住民票がある市区町村への申請になります。

ぜひご参加ください！

第9回小竹ふるさとマラソン大会

問い合わせ▶教育課社会教育係☎2･0452

■日時…平成28年2月14日(日)
9時から

■場所…御徳大橋下
サイクリングロード

【駐車場】小竹中学校、
御徳大橋下駐車場

※駐車場の台数には、限りがあります。ご協力をお願いします。

【種目】1㎞、1.5㎞、2㎞、3㎞、5㎞

※ただし、一般(高校生以上)は3㎞･5㎞に限ります。

【参加費】無料

【申込締切】1月27日(水)

※参加資格および申込方法については、問い合わせください。

小竹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略（案）

パブリックコメントを募集します

問い合わせ▶まちづくり政策課企画係☎2・1214

国全体の人口減少問題が懸念される中、昨年国において、まち・ひと・しごと創生法が制定され、将来の人口に係る長期ビジョンと総合戦略が策定されました。それを踏まえ、本町でも**小竹町版「人口ビジョン」・「総合戦略」（案）**を策定しました。それに関し、広く町民の皆さんからのご意見をお聴きするため、パブリックコメント（意見公募）手続きを実施します。

つきましては、以下の要領で皆さんのご意見を募集しますので、ぜひたくさんのご意見をお聴かせください。ご提出いただいたご意見を考慮しながら、最終案を作成いたします。

なお、小竹町版「人口ビジョン」・「総合戦略」（案）は小竹町ホームページで公開するほか、まちづくり政策課で閲覧することができます。詳細はホームページでご確認ください。

【募集期間】1月15日（金）から1月29日（金）まで

【意見を提出できる人】

▼町内に住所を有する人
▼町内に事務所または事業所を有する人
▼町内に通勤・通学している人
▼施策等の案に直接的な利害関係を有する人

【提出方法】

①直接持参→まちづくり政策課へ
②郵送→〒820・1192
小竹町大字勝野3349番地
小竹町役場まちづくり政策課宛
※1月29日（金）必着
③FAX→
☎0949・2・1140
④電子メール→kikaku@town.kotake.lg.jp

【提出様式】意見等の提出は原則として、様式1「意見等提出書」によるものとしますが、以下の事項が記入されていれば特に様式は問いません。

※自由様式により提出する場合の必須記入事項
①パブリックコメント「小竹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略（案）」への意見
②提出者の住所・氏名・電話番号
（法人等にあっては、事務所等の所在地・名称・代表者の氏名）
③小竹町以外の人は、意見書を提出できる主体である理由

※いただいたご意見の概要等は個人情報を除き、ホームページ等で公開する予定です。なお、個々のご意見・情報等に直接回答はいたしませんのでご了承ください。

税申告時の障害者控除を受けることができる場合があります

問い合わせ▶福祉課高齢者福祉係☎2・1219

身体障害者手帳等の交付を受けていない人でも、介護保険要介護認定（要支援を除く）を受け、基準に該当すれば税申告時の障害者控除を受けることができる場合があります。

適用を受けるには、小竹町が認定する「障害者控除対象者認定書」が必要となりますので、内容をご確認の上、申請ください。

◉認定基準

平成27年12月31日現在（年の途中で死亡した場合はその日）、介護保険要介護認定「要介護1から5」を受け、その状況が6か月以上続くと見込まれる、町内に住所を有する65歳以上の人

◉控除区分

・要介護1から3まで（身体障害者手帳3級～6級に準ずる）
→障害者控除
・要介護4・5（身体障害者手帳1・2級に準ずる）
→特別障害者控除

◉申請に必要なもの

・申請書、同意書（町ホームページからダウンロード可）
・印かん（申請者と同意者が別の場合は、それぞれ必要）
・対象者の介護保険被保険者証または本人確認書類

※認定書の交付が必要でない人

・既に身体障害者手帳、療育手帳を所持している人
・本人の所得税、住民税が非課税、または扶養者が非課税の人

◉申請先

福祉課高齢者福祉係

おしょうがつ おめでとう はじまりの日！

ますだ ゆうこ／作　たちもと みちこ／絵
文渓堂

大みそかの夜、お父さんもお母さんもあまねちゃんもどこかへ出かけていきます。ねこのみ～みは、いつもと違う家族の雰囲気に興味津々で、みんなの後にこっそりついていきます。

はてさて、みんなはどこへ行くのでしょうか？

季節のおりがみ壁飾り

堀込好子／著
日本ヴォーグ社

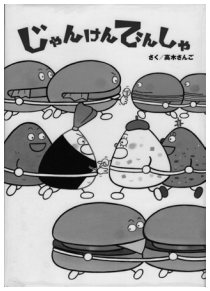
子どもからお年寄りまで、誰でも簡単にできる折り紙で作る壁飾りの本。人気のハロウィーンやクリスマスなど春･夏･秋･冬･お正月をテーマに応用作品も含めて60点が紹介されています。壁飾りは１枚だけでも楽しめますが、たくさんの人で作ってつなぐと大きな壁飾りができあがります。

町民まつり実行委員会並びに栄町有志の会より、中央公民館図書室へバザー部門の売上金の一部を寄付いただきました。

ありがとうございました。

じゃんけんでんしゃ

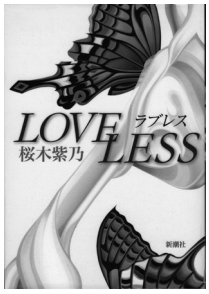
高木さんご／作
えほんの杜



てんむすと やきおにぎりが じゃんけんぽん。勝ったてんむすが運転手さん、負けたおにぎりが車掌さんになって出発進行！コロッケパンやチーズバーガーたちも電車遊びをしています。みんな次々にじゃんけんをしていき、電車はどんどん長くなって走り、終点のおかしランドに着きました。帰りは誰が運転手さんになるのでしょう。

LOVE LESS　ラブレス

桜木紫乃／著
新潮社



謎の位牌を握りしめて、百合江は死の床についていた。彼女の生涯はまさに波乱万丈だった。道東の開拓村で極貧の家に育ち、中学卒業と同時に奉公に出されるが、やがては旅芸人一座に飛び込んだ。一方、妹の里実は道東に残り、理容師の道を歩み始めた。流転する百合江と堅実な妹の60年に及ぶ絆を軸にして、姉妹の母や娘たちを含む女三世代の凄絶な人生を描いた長編小説です。

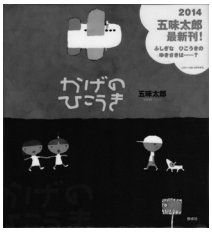
娘になった妻、のぶ代へ

砂川啓介／著
双葉社

2012年秋、しっかり者の姉さん女房だった妻が認知症と診断された。ドラえもんだった自分を忘れてしまった妻、大山のぶ代と、妻の介護に徐々に追い詰められる夫、砂川啓介。おしどり夫婦と呼ばれた２人の日々は、今も昔も困難の連続だった。全国460万人以上の認知症患者とその家族へつづる、老老介護の凄絶秘話です。

かげのひこうき

五味太郎／作
偕成社



ひこうきが飛んでいます。ひこうきの下には大きなかげ！そのかげに入ると、誰でもかげのひこうきに乗ることができます。かげのひこうきは、いったいどこまで飛んでいくのでしょう？

子どもたちに絵本の楽しさを伝えています

みて！きいて！おたのしみおはなし会

日 時▶3月13日(日)
11:00～13:00
場 所▶小竹町中央公民館
内 容▶あしなべ会によるおはなし会

★大人のおはなし会★
次回は平成28年3月8日(火)に変更になりました。

開館時間　8:30～17:15
問い合わせ　中央公民館　☎2･0452

今月の健康行事

▶小竹町立病院で火曜日に各種予防接種を実施しています。都合により実施していない場合もありますので、詳しくは小竹町立病院へお問い合わせください。

※要予約･･･小竹町立病院☎2･0282

▶内容によっては事前に予約が必要なものや対象者が限られる場合がありますので、保健センターに問い合わせください。

▶ウォーキング教室には、上靴、水筒、タオルを持参してください。

予約･問い合わせ…保健センター☎2･1864

1月

19日(火)：ウォーキング教室

10時～10時30分

中央公民館

26日(火)：ウォーキング教室

10時～10時30分

中央公民館

2月

3日(水)：歯と口と健康について（歯科医師による講話）

13時30分～15時

保健センター

8日(月)：ウォーキング教室

10時～10時30分

中央公民館

9日(火)：乳児健診

13時15分～13時45分

保健センター

受けていますか？ 予防接種

新年おめでとうございます。今年も健康に気をつけて過ごしたいですね。

予防接種の接種忘れはありませんか？お子さんから大人までこの機会にチェックしましょう。

■乳幼児から学童期のお子さん

生後２か月から予防接種が始まります。

定期予防接種には、ヒブ･小児用肺炎球菌･四種混合･ＢＣＧ･ＭＲ(麻しん･風しん)･水痘･日本脳炎･２種混合があります。それぞれ接種年齢や回数が定められていますので、母子健康手帳などの記録を確認して接種が済んでいるか確認してください。特に、次の２つは未接種者が多いので、漏れのないように接種しましょう。接種の際はかかりつけ医に御相談ください。対象者には個人通知でもお知らせしています。

◉ＭＲ２期〈小学校就学前の１年間に１回接種〉

◉２種混合〈11歳以上13歳未満〈標準的には小学６年生〉に１回接種〉

■65歳以上の人

定期予防接種には高齢者インフルエンザ・成人用肺炎球菌があります。かかりつけ医に御相談ください。

◉高齢者インフルエンザ予防接種の接種対象者

→65歳以上で接種を希望される人(接種料金1,000円)

◉成人用肺炎球菌予防接種の接種対象者

（本年度のみ平成28年３月31日まで）

→次の表の対象者のうち、<u>今までに一度も接種を受けたことがない人</u>で接種を希望される人(接種料金2,500円)

対象者	生年月日
65歳となる人	昭和25年４月２日生～昭和26年４月１日生
70歳となる人	昭和20年４月２日生～昭和21年４月１日生
75歳となる人	昭和15年４月２日生～昭和16年４月１日生
80歳となる人	昭和10年４月２日生～昭和11年４月１日生
85歳となる人	昭和５年４月２日生～昭和６年４月１日生
90歳となる人	大正14年４月２日生～大正15年４月１日生
95歳となる人	大正９年４月２日生～大正10年４月１日生
100歳となる人	大正４年４月２日生～大正５年４月１日生

※60歳以上65歳未満の心臓やじん臓、呼吸器に重い病気がある人(身体障害者手帳１級程度)およびヒト免疫不全ウイルスにより日常生活がほとんど不可能な程度の障害をもつ人で、接種を希望される人も対象者になります。

※対象者のうち生活保護受給者は接種料金が無料です。(医療機関へ診療依頼書または生活保護受給証明書の提示が必要です。)

相談

小竹町社会福祉協議会 無料法律相談

【日時】1月8日(金)、8時30分から13時まで受付、13時開始
【場所】小竹町総合福祉センター
【問い合わせ】小竹町社会福祉協議会☎2・2028

補聴器交付(修理) 巡回相談

【日時】1月21日(木)10時から11時まで
【場所】小竹町総合福祉センター図書室
【持参するもの】身体障害者手帳、印かん、補聴器
◉交付(修理)を受けた場合は、世帯の負担能力に応じて費用が必要です。
【問い合わせ】福祉課一般福祉係☎2・1219

行政相談を受け付けます

【日時】1月26日(火)10時から12時まで
【場所】役場1階ロビー
◉相談は無料で、秘密は厳守されます。
【問い合わせ】まちづくり政策課まちづくり推進係☎2・1214

困りごと相談室(出張相談会)

くらし・しごと・家計
【日時】1月15日(金)10時から16時まで※前日までに要予約
【場所】小竹町地域包括支援センター(総合福祉センター横)研修室
【対象】町内在住の人
◉相談無料・秘密厳守
【問い合わせ】福岡県自立相談支援事務所☎093・203・1630

司法書士会無料相談会

「相続登記はお済みですか月間」
【日時・場所】
◉平日…9時から17時まで、県内各地会員事務所にて
◉土日・祝日…10時から12時まで、福岡県司法書士会会館(福岡市中央区)にて(※1日3組限定)
【予約・問い合わせ】福岡県司法書士会☎092・722・4131(平日10時から16時まで)

親と子のなやみ相談窓口の開設

【期間】1月29日(金)・30日(土)
【相談時間】9時30分から16時30分まで
【相談電話番号】☎092・574・5541
【面接相談会場】大野城まどかぴあ
※面接の場合、事前予約可
【相談内容】子育て、非行、いじめ、ひきこもり、就労など子どもや若者に関する悩みや相談
【予約・問い合わせ】県新社会推進部青少年課☎092・643・3388

募集

平成27年度 自衛官採用試験

【募集種目】自衛官候補生(男子)
【受験資格】18歳以上27歳未満の人(平成28年4月1日現在)
【試験期日】3次募集▼1月24日(日)・25日(月) 4次募集▼2月13日(土)
【受付期間】3次募集▼1月19日(火)まで受付中 4次募集▼1月26日(火)から2月10日(水)まで
■自衛隊説明会
【日時】1月17日(日)10時から13時30分まで
【場所】自衛隊飯塚地域事務所
【問い合わせ】自衛隊飯塚地域事務所☎0948・22・4847

福岡県立直方特別支援学校 幼稚部(聴覚障害教育部門)入学者募集

【対象者】聴覚に障害のある幼児(平成28年4月1日時点で満3歳から5歳までの幼児)
【募集期間】2月2日(火)から2月9日(火)12時まで
【選考日時】2月19日(金)10時から11時20分まで
【問い合わせ】県立直方特別支援学校聴覚障害教育部門☎0949・24・5570

1月10日は、「110番の日」

◉110番は、事件事故の緊急通報専用電話です。
急を要しない相談などの110番は、1分1秒を争う緊急な事件事故への対応を遅らせる原因となります。

◉緊急時 あわてず あせらず 110番
県内からの110番は、すべて警察本部の通信指令室につながります。110番に電話すると、警察官が必要なことを質問しますので、落ち着いて、はっきり答えてください。

◉場所をきちんと伝えましょう
地番を確認して知らせましょう。地番がわからないときは、交差点名・バス停名・近くの店舗など目標になるものを知らせましょう。目標がない場合は、電柱番号や信号機番号を知らせましょう。

◉直ちに現場に駆けつけます
110番を受け付けながら、別の警察官が警察署やパトカー・白バイなどに無線で指令を行っています。安心して警察官の質問に答えてください。

毎週**木曜日**は
窓口業務を**午後7時**まで
延長しています

▷祝日は除きます
▷業務内容によっては、当日処理ができない場合があります

のおがた警察署　街頭犯罪だより

■管内街頭犯罪発生状況

	11月中	平成27年累計	
	件数	件数	前年比
車上ねらい	7件	111件	−24件
自転車盗	18件	130件	−29件
空き巣	25件	216件	+67件

１１０番は緊急電話
緊急時あわてずあせらず１１０番
相談ごとは＃９１１０

◉緊急対応を要する場合は躊躇(ちゅうちょ)することなく「110番」通報を！
◉急を要さない相談や要望などは#9110へ

直方警察署　☎0949−22−0110

お知らせ

排水設備工事責任技術者新規・更新登録の申請受付

下水道の宅内排水設備に関する工事責任者の新規登録および更新登録の申請を次の要領で受け付けます。

【対象者】

◉新規登録

▽福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験に合格した人（合格証の有効期限が平成28年3月31日以降の人）

▽試験参加市町に責任技術者として登録されている人

◉更新登録

▽平成27年度福岡県下水道排水設備工事責任技術者更新講習を受講した人

【受付期間】1月25日（月）から2月5日（金）まで

【申請・問い合わせ】上下水道課下水道事務係☎2・1945

パソコン教室開催！

【内容】基本ソフト（Windows7）、ワープロソフト（Word2010）、および表計算ソフト（Excel2010）の基本操作をベースにした、ビジネス文書や関数を取り入れた表作成等の応用操作の習得

【対象者】文字入力および基本操作ができる人

【開催日】1月25日（月）から1月29日（金）までの5日間

【時間】▼昼の部＝13時30分から16時30分まで　**▼夜の部**＝18時から21時まで（定員各10名）

【場所】福岡ソフトウェアセンター（飯塚市幸袋）

【受講料】1万円（教材費込み）

【申し込み・問い合わせ】嘉飯桂産業振興協議会☎0948・21・3777

第5回ー LOVE 遠賀川流域リーダーサミット

「遠賀川の恵みを再認識し、ふるさとの川を誇りとしよう」

【日時】1月24日（日）13時30分から

【場所】なかまハーモニーホール

◉駐車場あり・参加無料

【問い合わせ】国土交通省遠賀川河川事務所☎0949・22・1830

40歳からの2日間就職支援セミナー

【期間】1月21（木）・22日（金）10時から15時まで

【場所】ハローワーク直方

【対象者】おおむね40歳から64歳までの求職者

【内容】1日目▼就活のコツ、応募書類の書き方　**2日目▼**面接のコツ、面接訓練

【持参物】履歴書、筆記用具

【予約・問い合わせ】福岡県中高年就職支援センター☎092・433・7780

子育て女性合同会社説明会

【期間】1月19（火）10時から14時まで※13時30分受付終了

【場所】直方市中央公民館大会議室

【内容】就職支援セミナー▼①講演「強みを活かして輝くワーキングマザーになろう！」（10時から11時まで）②好感度アップ講座（12時から12時20分まで）③就職活動に役立つビジネスマナー（12時50分から13時30分まで）　**子育て女性のための合同会社説明会▼**10時から14時まで

◉費用無料・託児あり（無料・前日までに要予約・先着20名）

【申し込み・問い合わせ】福岡県子育て女性就職支援センター☎0948・22・1681

福岡県特定最低賃金改定のお知らせ

特定最低賃金	1時間	効力発生日
製鉄業、製鋼・製鋼圧延業、鋼材製造業	881円	平成27年12月10日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	837円	
輸送用機械器具製造業	860円	
百貨店、総合スーパー	802円	
自動車（新車）小売業	850円	

これらの特定最低賃金に該当しない産業は、**福岡県最低賃金（1時間743円）**が適用されます。詳しくは、福岡労働局労働基準部賃金課（☎092・411・4578）または、お近くの労働基準監督署までお尋ねください。

愛のともしび

小竹町社会福祉協議会へ

■香典返し

故　長谷川弥之助　様（兵丹区）
　遺族　長谷川好一　様

故　繁冨フジエ　様（中央区）
　遺族　繁冨　文男　様

故　上野　繁行　様（中央区）
　遺族　上野　義美　様

故　山本　サキ　様（南良津区）
　遺族　古賀　明子　様

■一般寄付

小竹盆栽同好会　様

人の動き　11月末現在

population

■人口　8,160人

男性	3,866人	女性	4,294人
出生	0人	死亡	11人
転入	18人	転出	15人

■世帯数　3,960世帯

ごみの量　11月末現在

garbage of fefuse-derived fuel

157,170kg（前月比 −6,480kg）

ごみの減量と資源回収にご協力お願いします

資源回収事業として、紙類・衣類は資源回収団体の皆さんが役場前で回収（月1回）しています。

▶回収日　1月17日（日）9時から12時まで

交通事故の発生件数

a traffic accident

11月末現在・（　）は前年同月比

	11月中	11月末累計
発生件数	4件（±0）	34件（−5）
死者数	0人（±0）	0人（±0）
傷者数	4人（−2）	44人（−10）

ー 性暴力被害に関するご相談はこちらへ ー　9時～24時（年末・年始を除く）※ 相談無料・秘密厳守
性暴力被害者支援センター・ふくおか　☎092・762・0799

No.516
広報こたけ ひまわりだより
編集・発行　小竹町役場総務課
〒820−1192
福岡県鞍手郡小竹町大字勝野３３４９番地
小竹町ウェブサイト
http://town.kotake.lg.jp
印刷　株式会社　ペイジ
2016.1.1

特別協賛 ＪＡバンク福岡
スポーツの総合祭典　第2回市町村対抗

福岡駅伝
FUKUOKA EKIDEN

小竹町が初出場、大健闘しました！

平成27年11月22日(日)　筑後広域公園周回コース

この大会は、福岡県が主催するスポーツフェスタ・ふくおか「福岡県民体育大会」の一環で、筑後広域公園周回コースを全９区間(29.05㎞)に分けて走ります。参加チームは全60チームで、元世界陸上代表選手など錚々(そうそう)たる顔ぶれが集結しました。

小竹町は、中学生からシニア(40歳以上)の総勢15名のチームで本大会に初出場しました。

敬称略・年齢は平成28年3月31日現在

区間	氏名	年齢
1区	佐藤 洋樹	21
2区	前田 悠乃	14
3区	増田 義憲	43
4区	寺田 響	17
5区	政住 竜也	39
6区	川原 一文	14
7区	山本 理紗	24
8区	田原 陽仁	14
9区	萬田 翔太	30
補欠	森 亮太朗	14
	島田 日向	16
	納富 亜矢乃	29
	竹内 大裕	33
	内藤 圭介	44

〈大会成績〉　総合の部　37位／60チーム
町村の部　14位／32チーム
〈タイム　1時間52分12秒〉

来年は、町村の部８位入賞を目指して頑張ります！